



\*『ジャイモン』ネパール語で「主(神)を讃美しましょう」の意

## 子供たちの意識調査から見えるもの

今年の2月に韓国のボランティア団体インターナショナル・ビジョン・キャンプ・チーム(IVC)と同行してネパールを訪問した。ニューホライズンアカデミー(NHA)での奉仕活動を見るのが目的の一つであった。この報告は2ページに掲載したとおりである。

それとは別にNHAの10年生(日本の高校1年生 15~17歳)を対象とした意識調査を実施した。子供の視点からネパールの教育状態を検証し、支援のあり方の参考にするのが目的であった。10年生を選出したのは、自分や家族の状況を社会的、客観的に把握できる年代と思われるからである。大別は(1)家族関係、(2)経済状況、(3)NHAの教育状況、(4)将来への展望、(5)聖書への関心について、20項目の質問をし、26名全員から回答を得た。詳細な統計や分析は、別の機会に報告するとして、主なものを集計すると下記のとおりであった。

- (1) 家族関係は4~6名の平均的家族(父、母、兄弟姉妹)
- (2) 経済状況は5段階に区分した中で「普通」(父親・主に建築業、母親・主婦)
- (3) NHAの教育は最高(教育の質が高い、奨学金制度(里親制度))
- (4) 将来の展望はカレッジ(高校2, 3年)へ進学(その後、大学、医者、経営者、公務員等)
- (5) 聖書の関心は非常に高い(YES)

この調査から、父親一人の給料で家族(4~5人)を養わなければならない。主な仕事は建築業である。しかし、その中身は現場の単純労働で収入は決して多くない。経済状況の「普通」は、近辺の人と変わらないとの意味である。私学に通わせられるのは里親制度があるからである。進学を希望し、なりたい職業は社会的ステータスの高いものが多いといったことが見えてくる。

また、NHAに働いている教師に子供たちがカレッジに行ったとして卒業後どのような仕事に就くのかと尋ねた。男子は父親と同じ建築業であり、女子は結婚して家庭に入る者が多いだろうと答えた。

政治的な問題、海もなく天然資源もない、国際的には何の魅力も感じられない国だと教師は、口をそろえて問題を指摘する。子供たちは未来を信じ、夢を描いて学校にくる。しかし、教師も国も子供たちに応えることができない。誰もアイデアをもたずにその日を生活している。教育だけではどうすることもできない現実の厳しさが見えてくる。

それではBFNは無意味かつ無駄な労苦なのであろうか。質問に「ネパールは好きか」と言う項目がある。全員、「YES(はい)」であった。その理由は、「Because it is my motherland(私の生まれた国だから。)」であった。子供たちは貧しくても、苦しくても今を精一杯生きている。輝くように美しい大きな目と歯を見せながら笑ってくれる。今誰にも見えなくても、きっとこの子供たちが新しいネパールを築いてくれる。教育は、自ら考える力を養い育て、聖書は、善悪の判断力を養い育てる。これらは決して目に見えない。BFNは、子供たちの心に「目に見えるものではなく、目に見えないもの」を提供できる最善の方法であり最低限の奉仕であると考えている。そして、子供たちが成人したとき「私の生まれた国。大好きなネパールの為に何が出来るか」を自問自答する一人ひとりであってほしいと心より願うのである。



BFN正会員 岡本 安司

### 目次:

子供たちの意識調査から見えるもの	1
第1回会計監査	2
第7期インターナショナル・ビジョンキャンプチームの働き	2
ガンガ マハリヤンの日常生活	3
里親からのプレゼントが子供たちに届く	4
支援者状況・新たに支援を受ける子供たち	4
質問箱	5
BFN新中期目標・長期ビジョン積立金	5
ネパール豆知識	5
2009年度決算報告(収支決算書)	6
2009年度決算報告(貸借対照表)	6
賛助会費・スポット支援金の流れ	6

### ハイライト:

第1回 NHA会計検査を実施(2ページに写真を掲載)
第7期インターナショナル・ビジョンキャンプチームの働き(2ページに写真を掲載)
ガンガ マハリヤンの日常生活(3ページに写真を掲載)
里親からのプレゼントが子供たちに届く(4ページに写真を掲載)
2009年度決算報告(6ページに掲載)

NPO法人 ブリッジズ・フォー・ネパール (BFN)

事務局: 〒569-0811 大阪府高槻市東五百住町3丁目1番4号(鬼頭宅)

Tel/Fax 072-695-0513

URL: <http://www.npo-bfn.org>

## 第1回NHA会計検査の実施

◎ NGO団体PENとNHAの会計検査を実施した。

日時 2010年2月12日(15:00~18:00)

2010年2月14日(10:00~12:00)

場所 クシクシホテル チェ理事長宅及びニューホライズンアカデミー

検査人 BFN代表 岡本安司

立会人 PEN代表 ビルバドル氏 NHA代表 チェ クンミン(崔根敏)氏  
NHA会計担当者 プロミロ氏



検査の様子

検査は帳簿、物品、使用用途について検査をした。BFNの送金額はすべてNHAの銀行口座に入金され、出納帳簿も正しく記帳されていた。スポット支援については、物品等に充てられ、物品はすべてBFNのラベルが貼られ、管理面でも良好な状態で使用されていた(学生用コンピュータ5台、事務用コンピュータ1台、スキャナー1台、プリンタ1台、図書257冊等)。資金は問題なく適正に管理されていた。

開始日から検査日までの貸借対照表(銀行の残高証明書を添付)を3部作成し、NHA、PEN、BFNの署名、押印を行い、1部を受領した。



支援金で購入されたNHAの図書



支援金で購入されたNHAの備品

## 第7期インターナショナル・ビジョン・キャンプ・チームの働き

◎ キムチパワー全開のボランティア

世間がオリンピックで沸き立っているとき、2月3日から12日まで韓国のボランティア団体インターナショナル・ビジョン・キャンプ・チームがNHAにて奉仕活動を行った。このチームは韓国のクリスチャン大学生を中心とした奉仕チームで、毎年NHAを訪問し今回で7期目にあたる。参加した学生の中には1年間休学しアルバイトをして費用に充てた者もいる。

5年生から10年生まで3組に分け、1組120名ほどの子供たちが、朝から夕方までそれぞれ3日間のプログラムを一緒に楽しんだ。第1日目の朝、ビジョンチームはNHAに行き朝礼で挨拶をした。10時からクシクシホテルの会議室でビジョンキャンプが始まった。「アー ユー レディー?」「アイム レディー」「ミュージック キュー」と言って子供の賛美歌を英語で歌い、演技指導をしていく。子供たちは、最初は緊張気味であったが、だんだん雰囲気になれ、歌も動作も次第に大きくなっていった。グループ別の得点板にクイズやゲームの勝利にあわせて印がつけられる。その印が貼られるたびに歓声が沸きあがる。グループ別の応援合戦で場は一層盛り上がった。



伝統芸能を披露



ミニ・オリンピック

◎ 笑顔と涙の交流

聖書の話はネパール語に通訳され、1時間のメッセージだ。少し難しい話しでも子供たちは目を丸くして食い入るように静かに聞いていた。

昼食は小さなバナナ2本、ゆで卵1個、ドーナツ1個とチア(ミルクティ)が出される。みんな並んで受取り、それぞれのグループでお祈りをして食べていた。昼からはクレーパスを使った工作。早く終わった子は他の子を助けてあげる。いじめどころか学校に行けるだけでも嬉しいのだ。二日目の目玉は、ミニオリンピック。学校のグラウンドで運動会をする。大がかりなものはない。パン食い競争でなく、スナック菓子食い競争、障害物競走など狭いグラウンドを駆けめぐる。9、10年のグループは、ネパールの伝統芸能を披露した。NHAは、ネパールダンスの先生がいて、放課後子供たちに指導している。美しい衣装を身にまとった女の子はかわいい。これもグループごとの競争になっていて、優勝したグループが発表されると、そのグループの子供たちが感激して泣いていた。お別れの記念撮影になると全員泣いていた。

笑顔と涙の交流の幕が今期も閉じた。いつか日本からも参加したい。



## ガンガ マハリヤンの日常生活

**子供の名前** :ガンガ マハリヤン      **学 年** :1年生  
**お父さんの名前**:シャーム マハリヤン    **お父さんの仕事**:ネパール軍人  
**お母さんの名前**:トゥルシ マハリヤン    **お母さんの仕事**:主婦



ガンガは幼稚園年少組からNHAに続けてきています。彼女は兄、姉と妹が1人づついます。現在、彼女は小学校1年生です。

ガンガがBFNの支援を受けたはじめたのは、幼稚園年長組の時でした。彼女はクラスの中で特に目立った子供ではありません。ガンガは、朝6時に起きて夜の8時に寝ます。学校の終わるのは夕方3時半です。学校から帰った後、彼女は、学校の宿題を兄や姉と勉強する前に近所の子供たちと一緒に遊んでおやつを食べたりしてのんびり過ごします。

彼女はBFNの支援をととても喜んでいて、彼女はこの支援に応えるためにいつも一生懸命勉強することを約束しました。また、支援者からの贈り物を受け取るととても喜んでいて、まだ小さいのでこれらすべてのことについてどのように表現したらいいのかわかりません。お母さんによれば、ガンガは幼少期に精神的に弱いところがあったとのこと。しかし、最近はだんだん精神面も強くなって、勉強も前の年よりもよくなってきているとのこと。

ガンガは小さな水かめを運んだり、コップや皿をかたづけたりして家の仕事をしてお



洗濯物を運ぶ

母さんを助けています。また、洗濯や皿洗いなどもします。彼女は毎週土曜日、マチェガウン集会の朝9時から10時までである日曜学校にいつも出席します。彼女はとても日曜学校が好きで出席できることを喜んでいて、集会では、初めての人たちと話すのが苦手で少し恥ずかしがり屋です。

ガンガはいつも自分一人で学校に行く用意をします。また、決して学校に遅れることはありません。



ガンガの家



宿題をする



食事風景

ガンガの両親は彼女の支援者になってくださった人にととても感謝しています。彼らには4人の子供がいてNHAで学んでいます。彼女の両親二人ともクリスチャンです。

両親は支援者やBFNにこのように感謝の気持ちを表しています。



ガンガの母

「私の娘をこのように援助してくださって大変感謝します。神様が私の娘を援助してくださる4倍以上の祝福を皆様の上に与えてくださいますように。神様が皆様の生涯を実り豊かなものとしてくださいますように皆様がいつも与えつづける人であるためにも決して乏しいことはありませんように。

もし皆様の支援を受けていなければ、このようなすばらしい英語で教える教育程度の高いNHAに入学させ授業料を払うことなどできませんでした。私たちは子供を公立の学校に入れなければならませんでした。しかし、神様は祝福された皆様を通して私たちを祝福

してくださいました。私の夫の月給は家族を養うだけでも十分ではありません。子供たちの授業料を払い続けることがとても難しかったのです。

皆様の愛の支援を受けることで、それができるようになりました。

私は、心の底から皆様と神様に感謝しています。」

ガンガの担任の先生は、彼女はとても几帳面な子供だと話してくれます。彼女は決してクラスの仕事や宿題を忘れてたりしません。クラスの中でもとてもよくしつけられた生徒です。彼女はあまりしゃべりませんが、先生に与えられた仕事を忠実に果たします。

ガンガは勉強をよくします。彼女は1学年の最終試験に臨んでいます。彼女はこの最終試験に合格する自信を持っています。なぜなら彼女はこの試験のために特別授業のクラスで一生懸命勉強したからです。

## 里親からのプレゼントが子供たちに届く 2010年2月



支援者状況      2009年度      最終報告      2010年3月31日現在

区 分	人数・件数	金 額	備 考
賛 助 会 員	69名	月額 2,500円	累積延べ人数
スポット支援	30件	471,000円	

新規に支援される子供たち 2009年度 (2009年10月～2010年3月)      2010年3月31日現在

氏 名	性別・学年	氏 名	性別・学年	氏 名	性別・学年
ロハン マハリヤン	男 1年生	サンディーブ マハツ	男 8年生	スマン マナンダハー	男 7年生
スメダハ シグデル	女 1年生	スニル シレスタ	男 8年生		



## 質問箱

**質問1:「賛助会員で支援する子供の人数は決まっていますか? 賛助会員の詳細について教えてください」**

**回答** パンフレットでは一家族一人となっていますが、多くの支援者からもっと支援したいとの声があり、現在は何名でも支援していただいて結構です。賛助会員は、子供たちの学業費用として毎月2500円を支援して頂くと共に子供たちとの交流を深めていく制度です。支援期間は子供たちが卒業するまでとしていますが、都合により支援できない場合は中止も可能です。また、手紙やプレゼントを通じて、子供たちを励ましてください。子供たちからは毎年、写真の貼られた「成長の記録」が感謝を込めて届けられます。我が子や弟妹のように子供たちの成長をご家族と一緒に喜んでいただければ幸いです。

**質問2:「一般のNPO団体の事務費が高いと言われていますが、BFNの事務費はどうか?」**

**回答** 賛助会員費は一切事務費を頂いていません。但し、スポット支援は、20%の事務費を頂いていますが、2010年度から毎年12月に事務費の必要額を再調査し余剰金があれば、支援金に使用することにします。

事務費は、パンフレット、封筒代、銀行引落とし手数料、郵送料などの必要経費です。人件費については一切無報酬のボランティアです。

BFN発足当初、賛助会員費から事務費として20% (他のNPO団体の場合、事務費は40~50%と聞いています) を徴収予定でしたが、正会員費とスポット支援金の20%で賄うことができるようになりましたので、発足当初から事務費は頂いておりません。全額支援に使用しております。

## 新中期目標(5年計画)

賛助会員は、今後著しく伸びるのは難しいので、'09年度から見直すことにした。但し、スポット支援については、当初計画通りとする。

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	備考
賛助会員	50名	70名	75名	80名	87名	年度末人数とする
(現人数)	(58名)	(69名)	—	—	—	
スポット支援金	10万円	20万円	30万円	40万円	50万円	
(現収入金額)	(70万円)	(47万円)	—	—	—	(20%事務費を含む)

\* スポット支援収入額は計画額を超えているが、今後の事を鑑みこのままスポット支援繰越金として残すことにした。

## 長期ビジョン積立金

	2008年	2009年	2010年	2011年	2012年	合計
長期積立金	13万円	37万円	—	—	—	50万円

## ネパール豆知識 (これって知ってた?)

### ○ネパールは野生の王国である。

ネパールは、ヒマラヤだけしかないと考えている方が多い。しかし、インドの国境近くに広がるタライ平原のチトワンは野生動物の宝庫である。1984年世界遺産(自然)に指定されたチトワン国立公園には、象、鹿以外にもインドサイ、ベンガルトラ、ヒョウ、クロコダイルなどの絶滅危惧種の動物が生息している。また野鳥の種類は500種類以上で世界一である。古くからこの地域は、マラリアのためにごく一部の民族しか住む事ができず、人間が暮らし難い土地として考えられていた。そのために野生動物たちの宝庫となったのである。近年になって森林開発が急速に進んだので、ネパール政府が保護するようになった。現在、ゾウの背中に乗って見るジャングルサファリや、ラフティング、カヌー、バードウォッチングを楽しむ観光地として知られるようになった。



## 2009年度 決算報告

平成22年3月31日現在

### 収支決算書

(単位 円)

(収入の部)			(支出の部)			
科 目		収入額	科 目		支出額	
入会金・会費	正会員入会金	10,000	事業費	未就学児童への支援事業	1,300,243	
	正会員会費	399,000		教育機関への支援事業	469,658	
	賛助会員会費	1,880,000		医療支援事業	0	
寄付金	スポット支援金	471,000		日本における啓蒙活動事業	137,520	
				事務費	会費収納管理費(会費引落手数料)	163,912
雑収入	雑収入	186	郵送料・通信費	22,030		
当期収入合計(A)		2,760,186	消耗品費	25,800		
繰越金	前期繰越金	939,456	その他	7,495		
収入合計(B)		3,699,642	支出合計(C)		2,126,658	
					当期収支差額(A)-(C)	633,528
					次期繰越収支差額(B)-(C)	1,572,984

### 貸借対照表

(単位 円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】		【流動負債】	0
現金	2,095	【固定負債】	0
預貯金		負債の部合計	0
三井住友銀行	298,199	純資産の部	
ゆうちょ銀行(振替)	768,690	賛助会費繰越金	53,508
ゆうちょ銀行(定額)	504,000	スポット支援金繰越金	729,480
【固定資産】	0	事務費繰越金	285,496
		長期ビジョン積立金	504,500
		純資産の部合計	1,572,984
資産の部合計	1,572,984	負債・純資産の部合計	1,572,984

### 賛助会員費とスポット支援金の流れ

